

# 架け橋だより



木々の芽吹きに春の息吹を感じる季節となりました。就学や進級に向け、子どもたちは期待に胸を弾ませていることと思います。保護者のみなさまにおかれましては、平素より町教育行政へのご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度最後の『架け橋だより』では、園と小学校の円滑な接続に向けた取り組みをご紹介します。



## 5歳児保育参観・情報交換



各小学校教諭が、自校に入学する園児が在園する園へ保育参観に行き、5歳児の学びや育ちに対する理解を深めました。

各園では静的活動と動的活動を取り入れ、担任の話聞いてそれを理解して行動に移している姿、友達と協力しながら活動している姿など、普段の活動の様子を見てもらいました。

「小学校の先生が見に来る！」と、嬉しさと緊張が入り混じりながらも、気持ちはさながら1年生の子どもたちは張り切って活動に取り組み、入学への期待を高めていました。

参観後には、学校別に職員同士の情報交換を行い、「一人一人の園児の学びや育ちを含め、架け橋期の指導で大事にしていること」について共有しました。



## 架け橋期子育て講演会

こども園からの依頼を受け、中島崇幼児教育センター長が講師となり、5歳児の保護者向けに『架け橋期子育て講演会』を行いました。「子どもをほめる時のポイントとして大事なことは、“結果”ではなく“過程”をほめること」「努力や工夫を認める言葉が、子どもの自信を支える力につながる」というセンター長の言葉に、大きくうなずく姿が多く見られました。



## 2/5 新1年生体験入学

各小学校で、新1年生の体験入学が行われました。1年生教室を実際に使い、現1年生が学校生活の紹介をしたり、新1年生が入学した時に最上級生となる5年生とペアになって、一緒に体を動かしたり学校内を案内してもらったりして過ごしました。

園では一番体も大きく、3・4歳児の憧れの存在となっている5歳児ですが、入学への期待と共に不安な思いも抱えていることでしょう。そんな思いを察するかのように、視線を5歳児に合わせて優しく語りかける小学生の姿は、とても頼もしく感じました。



## 2/10 架け橋期カリキュラム検討委員会



学校区ごとに分かれ、各園・小学校から持ち寄った活動写真をもとに、園小の学びのつながりについて、また共通して大事にしていくことについて話し合いを行いました。園での『遊び』は小学校の『学び』の前倒しではなく“学びの芽”であることを確認し合い、互いの良さを共有し合える話し合いとなりました。



幼児教育センターでは、次年度も幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向け「架け橋プログラム」の推進に努めてまいります。家庭と学校園で共有しながら子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

